

2026年1月22日

『中小企業を成長させる 伴走支援コンサルティング・マニュアル』誤情報等に関する お詫びと絶版のお知らせ

標記図書（2026年1月13日発行、中村 中 著）のうち、みどり製菓株式会社様に関する事例紹介として4ページ（P216～219）にわたり、何の取材、裏付け、掲載許可を取らず、事実確認を怠ったことにより、多くの誤った情報、読者に誤解を与える記述が判明しました。情報の多くは、著者がインターネット上から調べ、下記のとおり憶測で内容を記載した箇所もありました。

その結果、同社の虚偽のイメージを広めてしまうことになりましたことにつきまして、みどり製菓株式会社様、関係各位、読者の皆様に深くお詫び申し上げます。

同書は絶版とし、以下に誤情報の内容を記載いたします。

今後このようなことが起らないように努めてまいります。

株式会社ビジネス教育出版社

箇所	本書の記述	誤情報等の内容
P217 6行目	廃棄ロス削減に努めています。	取材せず出典不明。
P217 7行目	社長自らが積極的にメディア露出を行い～	社長はメディアに基本的には出演していないにも関わらず積極的に自ら露出と記載した。専務がメディア出演などの対応をしており虚偽の内容を記載した。
P217 16行目	新卒採用の開始	一般企業の企業戦略を了承もなしに公開した。
P218 5行目	戦略的なサポートを提供しました。	提供した、～調達を支援したなど誰かのこれまでの努力を利用して著者の手柄にするよう、受け取られかねない記述である。
P218 10～11行目	SDGs を捉えるという視点を提供しました。	従来から販路開拓は自社で行っており、【資金調達を支援しました】などは勝手な妄想で書かれて信用問題に繋がる。
P218 18～19行目	～新たな販路開拓を支援しました。	
P219 2行目	戦略的な資金調達を支援しました。	公的支援を受けたことなどの情報を公開した上に、サポートをしていないのに確認もせずに記載された。
P218 15～16行目	デザインや金型製作にかかる費用の一部を公的支援で賄うためのサポートも～	
P218 下から5行目	伴走支援者は社長のメディア露出を積極的に後押しし～	メディア露出は誰からも後押しされておらず、自然発生的に生まれたものである。しかし「伴走支援者が後押し」と虚偽の記載をした。なお社長ではなく専務が担当しておりその点も虚偽の内容であり社会的なイメージを損なわせた。
P219 6～7行目	アプローチに成功し、ブランドイメージを向上することができました。	勝手に著者の成果として虚偽の手柄を立てるよう、受け取られかねない記述である。
P219 8～11行目	内閣府の「経営デザインシート」～を伴走支援者とともに検討し、対話を重ねていくつもりです。	面識もなく対話などすることは不可能で、妄想的なことが記述されている。